施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

（パブリック向けウォシュレット一体形便器　ＴＣＦ９５１・９５２・９５３・９５４　用）

１．施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。（メンテナンス性向上のため）

特殊コードラベルの品番は、**特殊コードラベル一覧**＊をご確認ください。

＊TCF951およびTCF952は、補修部品の供給期間が終了したため、ラベルの発注はできません

２．連立トイレの配置例

＊便器洗浄リモコンを併設する場合は、特１～特6で切り替えてください。
理由：便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。

正規品	（特１）タイプ1	（特２）タイプ2	正規品	（特１）タイプ1	（特２）タイプ2
（特３）タイプ3	（特４）タイプ4	（特５）タイプ5	（特３）タイプ3	（特４）タイプ4	（特５）タイプ5

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償)
※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

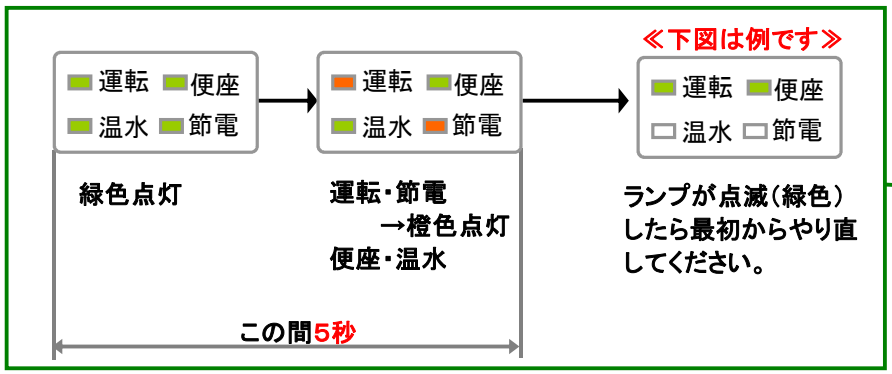
1

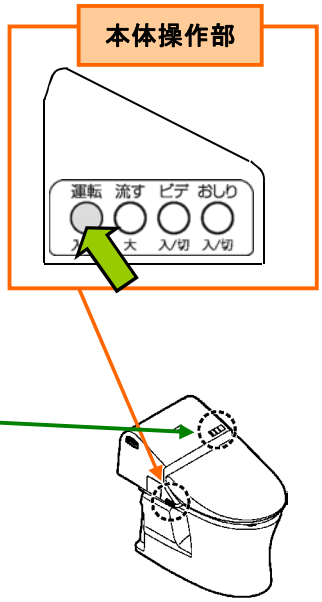
※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

本体操作部の 運転 入/切 を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが5秒間点灯します。

≪下図は例です≫



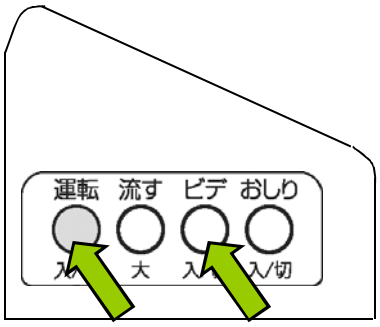


2

運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)しているうちに、

すぐに ビデ 入/切 を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。



3

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 入/切 を押したまま、おしり 入/切 を押す。

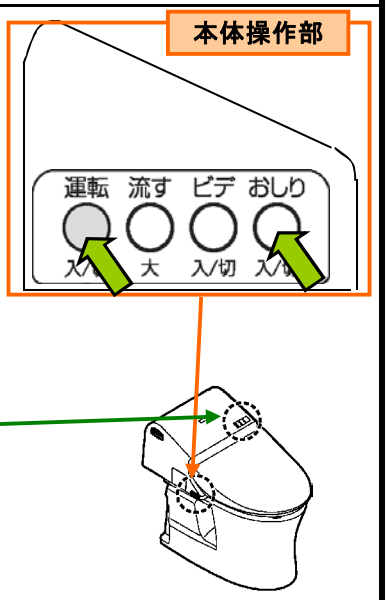
おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

＊便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。
理由:便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため

本体表示部

●…緑点灯　×…消灯

設定ｺｰﾄﾞ	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7＊	特8＊	特9＊
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●

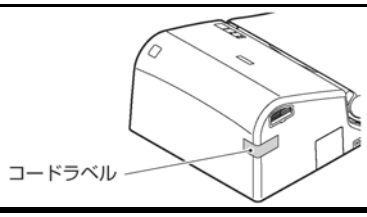


4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 入/切 から手を離した時点で設定したコードになる。

5



ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

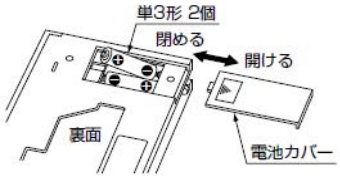
※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

2015. 4. 15 改訂

<<リモコン側（ウォシュレットリモコンの場合）の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法（リモコン側）

1

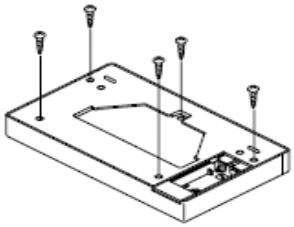


①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。
②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。
③「止」SWを押したままにして、
リモコン本体のランプが消えることを確認する。
（乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。）

ご注意!!

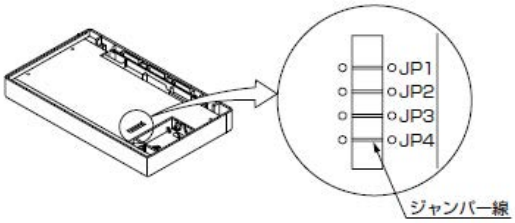
電池を必ず抜いて作業を行ってください。
電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。

2



リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、
裏板を取りはずす。

3



ご注意!!

◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように
注意して行ってください。
◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らない
ように注意してください。

＊便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。
理由：便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため

◎：つながったまま　×：切断

ジャンパ線＼コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×

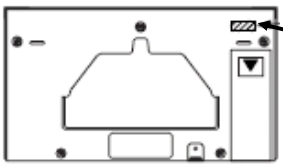
リモコン基板上の4本のジャンパー線を、
左表にしたがってニッパで切断すること
により特1～特9へ切り替える。

4

①裏板をねじでリモコンに取り付ける。

②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。
◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。

5



例

リモコンコード特1
このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。

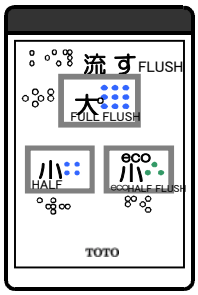
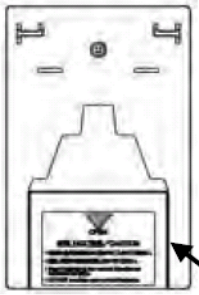
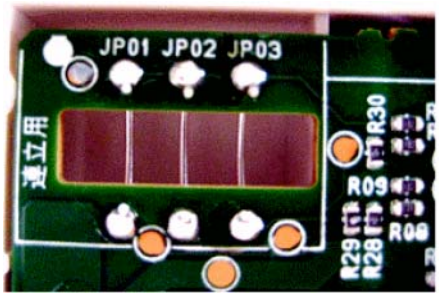
切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

◎リモコンの裏面に貼付してください。

※1　ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
※2　基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）

2014．11．6　改訂

<<リモコン側（便器洗浄用リモコン）の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法（リモコン側）
1	①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 **ご注意!!** 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。  ≪表側≫  ≪裏側≫　電池カバー
2	リモコン裏面の固定ねじ1本をプラスドライバーではずし、 裏板を取りはずす。 固定ねじ
3	リモコン基板上の3本のジャンパー線を、下表にしたがって ニッパで切断することにより特1～特6へ切り替える。 **ご注意!!** ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえない ように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入ら ないように注意してください。 ◎リモコン基板の方向は、左画像とは異なり ますのでご注意ください。 リモコン下側 標：標準品　1：タイプ1　2：タイプ2　3：タイプ3 ○：つながったまま　切：切断 リモコン上側 リモコン上側 コード表 ジャンパー線 リモコン下側 リモコン下側  JP01 JP02 JP03 連立用 R30 R09 R08 R29 R28 リモコン上側
4	①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。
5	切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの 本体のみを操作できます。

コード	標	1	2	3	4	5	6	標
JP01	○	切	○	切	○	切	○	切
JP02	○	○	切	切	○	○	切	切
JP03	○	○	○	○	切	切	切	切

※1　ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
※2　基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）

2013. 6. 28 改訂

<<リモコン側（埋込リモコンの場合）の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法（リモコン側）

【補足】

タッチスイッチの連立設定は不要です。

1

リモコンの と を10秒以上押し続ける

⇒10秒後にリモコンの水勢ランプが**2秒間**点灯します。

約10秒後に特殊（設定）モードになり、水勢ランプが下記のようになります。

スイッチを押し続けると、約10秒後に水勢ランプが全点灯 → スイッチから手を離すと、水勢ランプが全点滅します。

2

リモコンの水勢ランプが点滅（2秒間）しているうちに、

すぐに を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

全点滅

3

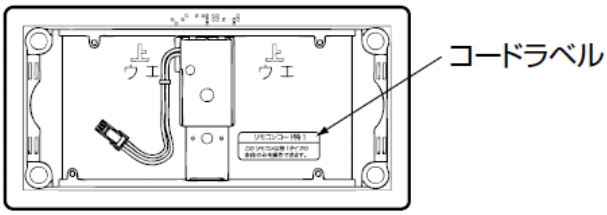
リモコンの水勢 を押す度に

標準→特1→特2…特9→標準

と設定が切り替わります。

◎…点灯 ×…消灯

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎
ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×
ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×
ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎

手順	リモコン特殊コード切り替え方法（リモコン側）
4	設定の切替が完了したら リモコンの を押す ⇒設定完了です!!
5	切替え後、リモコンをはずして、特殊コードラベルを フレームに貼り付けてください。 （リモコンは吸盤ではずしてください。） 

※ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。